

スリム化の断行や職員会や打合せ等の見直しに取り組んだ実践

瑞浪市立土岐小学校

1. 目標

- ・時間外勤務45時間以内。
- ・繁忙期のスリム化や毎月の負担軽減を図り、昨年度より月平均時間外勤務を10%削減（一人当たり一日10分）する。

2. 実践の内容

(1) 時間外勤務削減のための業務改善

① 学年会計報告の回数削減

- ・来年度2学期制に変更することに伴い、学期ごとに会計報告していたものを前後期終了の2回と変更した。

② 週時程の一部変更

- ・2年生をすべて5時間授業、3年生は金曜日に5時間授業にして、年間を通して、週1時間授業時数を減らした。

③ 4月の日課変更及び1年生用バスの増発

- ・4月末に各家庭の位置を確認する前3日間を準備期間として、すべての学年を5時間授業とした。また、4月は1年生下校に合わせたバスを増発してもらい、学校での待機時間を減らすことで、1年生担当教員が業務に専念する時間を確保できるようにした。

(2) 会議時間短縮に関わる改善

① 事前の資料配布及び会議時間の設定

- ・会議時間短縮のため事前の資料配布し、会議時間の終了時刻も告知した。

② 情報共有のための職員室モニター利用

- ・日々の打合せ内容は職員室のモニターを活用し周知徹底した。

(3) その他

① アンケート集計のデジタル化

- ・これまで紙媒体で行っていたアンケート集計を、児童アンケートについてはグーグルフォームを、保護者アンケートについてはメールのアンケート機能を利用した。

② スクール・サポート・スタッフの積極的活用

- ・印刷物の配布、印刷、ファイリング、様々な点検など、教頭、養護教諭や事務官などの支援を行った。

3. 評価結果

(1) 教職員の時間外勤務の月当たりの平均（昨年度との比較）

|    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 平均    |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| R4 | 45:32 | 42:36 | 42:58 | 24:42 | 12:20 | 45:51 | 42:06 | 49:57 | 38:32 |
| R5 | 41:56 | 40:10 | 41:46 | 27:42 | 6:56  | 36:17 | 41:35 | 44:02 | 34:14 |

## 令和5年度多忙化解消アクションプラン

### (2) 学年会計担当の7・12月の時間外勤務

|     | R4           |              | R5           |              |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|
|     | 7月           | 12月          | 7月           | 12月          |
| 1年生 | 48:10        | 74:55        | 42:10        | 62:27        |
| 2年生 | 48:00        | 45:35        | 41:48        | 46:02        |
| 3年生 | 30:05        | 39:20        | 26:40        | 30:14        |
| 4年生 | 31:00        | 44:40        | 10:40        | 10:22        |
| 5年生 | 26:15        | 34:15        | 29:13        | 28:38        |
| 6年生 | 37:50        | 56:22        | 32:05        | 36:15        |
| 平均  | <b>36:53</b> | <b>49:11</b> | <b>30:24</b> | <b>35:39</b> |

### (3) 3年生 9月から11月の時間外勤務

|   |      | 9月    | 10月   | 11月   | 4~11月平均  |
|---|------|-------|-------|-------|----------|
| R | 3年1組 | 43:32 | 41:10 | 50:00 | 37:23:23 |
| 4 | 3年2組 | 30:00 | 47:35 | 53:45 | 37:20:00 |
| R | 3年1組 | 21:24 | 47:11 | 43:10 | 34:39:23 |
| 5 | 3年2組 | 32:07 | 37:20 | 39:24 | 33:37:00 |

### (4) 1年生 4・5月の時間外勤務

|    | 4月    | 5月    | 4・5月平均   |
|----|-------|-------|----------|
| R4 | 74:25 | 67:20 | 70:52:00 |
| R5 | 48:27 | 50:39 | 49:33:00 |

## 4. 成果と課題

### (1) 成果

- 本年度 ICT 実践フィールド校として研究授業も多くあったが、7月以外は昨年度より早く帰ることができた。(一人当たり一日11分削減)
- 会計報告を2回にしたことで、7・12月の各学年の会計担当者の勤務時間外を減らすことができた。また、年間を通して3年生の授業数を週1時間減らしたこと、4月に1年生のバスを増発したことにより、担任の空き時間が確保され、児童に寄り添う時間を確保することができた。
- 会議について、職員会は1時間以内で終わることができるようになった。また、職員室のモニターで情報共有したことにより、週1回の打合せの時間も短縮できた。(一人当たり週5分削減)
- 集計について、アンケート機能を用いたことにより、教頭等の集計処理を時間短縮することができた。(教頭、教務等、15時間削減)
- スクール・サポート・スタッフの積極的活用により、本来の仕事に時間をかけられるようになった。(教頭、養護教諭、事務官等 月10時間削減)
- 今回の指定を受けたことで、職員が自分の働き方を見つめ直したこと、さらに困った職員には学年問わず支え合う風土ができたことが一番の成果であった。

### (2) 課題

- 職員全体で月45時間以内におさまっているが、高学年や児童会担当等、全校に関わる役割を持つ職員ほど、時間外勤務が多い。また、今年度教頭、教務の授業時数が多く、放課後しか仕事ができない日もある。校務分掌の平準化と共に、仕事量の多い教頭、教務の授業時数を減らす。
- タブレット端末のさらなる有効活用により、授業の教材づくりの時間削減や打合せ時間の省略を図っていく。
- 職員で多忙化解消のアイデアを出す時間を計画的に位置付けながら、さらなる削減を目指していく。